

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》倉橋 昌司（非）

## 【概 要】

人体構造機能学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲと合わせて、解剖・生理学の知識と考え方を会得し、人体の構造と機能の恒常性を維持する機構の巧妙さを学ぶ。このシリーズの講義は、今後開講される病理学、病態学、看護学などを習得する上で基礎となるものである。

## 【学習目標】

人体構造機能学Ⅳでは、運動機能調節と筋収縮、体温調節、内分泌腺と生殖器の構造および機能、成長と老化を正しく理解し、人の生きるしくみにどのように関わっているのか説明できるようになることを目標とする。

## 【学習内容】

| 回  | テーマ            | 授業内容および学習課題                                    | 担当者 |
|----|----------------|------------------------------------------------|-----|
| 1  | 情報の受容と処理 1 5   | 運動機能と下行伝導路                                     | 倉橋  |
| 2  | 身体の支持と運動       | 筋の収縮                                           | 倉橋  |
| 3  | 身体機能の防御と適応 1   | 代謝と運動、体温とその調節 1 ①体温の分布と測定                      | 倉橋  |
| 4  | 身体機能の防御と適応 2   | 体温とその調節 2 ②熱の出納、③体温調節、④発熱、⑤高体温と低体温             | 倉橋  |
| 5  | 内臓機能の調節 2      | 内分泌系による調節 1                                    | 倉橋  |
| 6  | 内臓機能の調節 3      | 全身の内分泌腺と内分泌細胞 1 ①視床下部と下垂体系                     | 倉橋  |
| 7  | 内臓機能の調節 4      | 全身の内分泌腺と内分泌細胞 2 ②甲状腺と副甲状腺                      | 倉橋  |
| 8  | 内臓機能の調節 5      | 全身の内分泌腺と内分泌細胞 3 ③膵臓、④副腎                        | 倉橋  |
| 9  | 内臓機能の調節 6      | 全身の内分泌腺と内分泌細胞 4 ⑤性腺、⑥その他の内分泌腺：消化管              | 倉橋  |
| 10 | 内臓機能の調節 7      | 全身の内分泌腺と内分泌細胞 5 ⑥その他の内分泌腺：腎臓、松果体、心臓、胎盤、ホルモンの分泌 | 倉橋  |
| 11 | 生殖・発生と老化のしくみ 1 | 男性生殖器の構造と機能                                    | 倉橋  |
| 12 | 生殖・発生と老化のしくみ 2 | 女性生殖器の構造と機能                                    | 倉橋  |
| 13 | 生殖・発生と老化のしくみ 3 | 受精と胎児の発生                                       | 倉橋  |
| 14 | 生殖・発生と老化のしくみ 4 | 成長と老化 1 小児期の成長                                 | 倉橋  |
| 15 | 生殖・発生と老化のしくみ 5 | 成長と老化 2 老化                                     | 倉橋  |

## 【評価方法】

定期試験 100%

## 【備 考】

教科書：系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学：人体の構造と機能①、坂井建雄・岡田隆夫共著 医学書院

参考書：ぜんぶわかる人体解剖図—系統別・部位別にわかりやすいビジュアル解説、坂井建雄・橋本尚詞共著 成美堂出版

## 【学習の準備】

初回に配付されたプリント記載の各回講義内容詳細および教科書対応ページを参考にし、各回の授業内容および学習課題について予習すること。（40分）

各回授業における問題を中心に授業内容を復習すること。（20分）

## 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2